

自立した日常生活の 阻害要因 (心身の状態、環境等)		①左片麻痺重度 ④活動性の低下		②両下肢筋力低下 ⑤ADL介助多い		③ベッド上起床動作介助 ⑥介護力に不安あり。	
状況の事実 ※1		現在 ※2		要因※3	改善/維持の可能性※4		備考(状況・支援内容等)
移動	室内移動	自立	見守り 一部介助 全介助		改善	維持 悪化	車椅子
	屋外移動	自立	見守り 一部介助 全介助		改善	維持 悪化	車椅子
食事	食事内容	支障なし 支障あり			改善	維持 悪化	夫が調理、栄養等に詳しくない。
	食事摂取	自立	見守り 一部介助 全介助		改善	維持 悪化	
	調理	自立	見守り 一部介助 全介助		改善	維持 悪化	
排泄	排尿・排便	支障なし 支障あり			改善	維持 悪化	尿便意がはっきりしないことがある。
	排泄動作	自立	見守り 一部介助 全介助		改善	維持 悪化	終日オムツ使用。
口腔	口腔衛生	支障なし 支障あり			改善	維持 悪化	歯肉炎あり
	口腔ケア	自立	見守り 一部介助 全介助		改善	維持 悪化	左側歯磨き不十分
服薬		自立	見守り 一部介助 全介助		改善	維持 悪化	服薬準備と薬を本人に渡す支援必要。
入浴		自立	見守り 一部介助 全介助		改善	維持 悪化	通所施設の機械浴、住宅改修なし。
更衣		自立	見守り 一部介助 全介助		改善	維持 悪化	
掃除		自立	見守り 一部介助 全介助		改善	維持 悪化	夫
洗濯		自立	見守り 一部介助 全介助		改善	維持 悪化	夫
整理・物品の管理		自立	見守り 一部介助 全介助		改善	維持 悪化	夫
金銭管理		自立	見守り 一部介助 全介助		改善	維持 悪化	夫
買物		自立	見守り 一部介助 全介助		改善	維持 悪化	夫
コミュニケーション能力		支障なし 支障あり			改善	維持 悪化	
認知		支障なし 支障あり			改善	維持 悪化	
社会との関わり		支障なし 支障あり			改善	維持 悪化	入院後はさっぱり友人との交流なし。
褥瘡・皮膚の問題		支障なし 支障あり			改善	維持 悪化	陰部と臀部に汚れによる発赤あり。
行動・心理症状(BPSD)		支障なし 支障あり			改善	維持 悪化	
介護力(家族関係含む)		支障なし 支障あり			改善	維持 悪化	夫のみ
居住環境		支障なし 支障あり			改善	維持 悪化	段差あり、車椅子移動は困難、住改無。
					改善	維持 悪化	

利用者及び家族の 生活に対する意向	寝たきりになりたくない、少しでも自分のことが できるようになって家で暮らしたい。	
見 通 し ※5	生活全般の解決すべき課題 (ニーズ)【案】	※6
起床動作や移乗動作が向上すれば、 車椅子での移動が容易になる。	自分の力で外出したい。	3
尿便意あり、移動動作能力向上で トイレでの排泄の自立度が高まる。	オムツ交換を手伝ってほしい。	2
健康回復につながる	健康を保ちたい。	1
ADLや座位・立位動作が不安定、 自宅での入浴は難しい。	入浴して清潔を保ちたい	4
定期的な排泄の支援でオムツによる 皮膚のタダレが軽減する。 娘二人は就労のため、夫のみ。		

※1 本書式は総括表でありアセスメントツールではないため、必ず別に詳細な情報収集・分析を行うこと。なお「状況の事実」の各項目は課題分析標準項目に準拠しているが、必要に応じて追加して差し支えない。

※2 介護支援専門員が収集した客観的事実を記載する。選択肢に○印を記入。

※3 現在の状況が「自立」あるいは「支障なし」以外である場合に、そのような状況をもたしている要因を、様式上部の「要因」欄から選択し、該当する番号(丸数字)を記入する(複数の番号を記入可)。

※4 今回の認定有効期間における状況の改善/維持/悪化の可能性について、介護支援専門員の判断として選択肢に○印を記入する。

※5 「要因」および「改善/維持の可能性」を踏まえ、要因を解決するための援助内容と、それが提供されることによって見込まれる事後の状況(目標)を記載する。

※6 本計画期間における優先順位を数字で記入。ただし、解決が必要だが本計画期間に取り上げることが困難な課題には「ー」印を記入。